

病院長への手紙に対する回答(R3.5.18回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
8811	入院前の説明では、「病院内でもマスク着用」との指示でありながら、入院患者の約7割がマスク不使用となっている。 家族とのやり取りは、談話室との指示でありながら、一部の家族は病室まで出入りしており、ルールの徹底が必要だと思う。	この度は不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありません。感染症対策のため、患者さんやご家族に、原則、病院内でのマスク着用と、病室内は必要に応じた着用をお願いしています。 入院前の説明と齟齬が生じないよう、職員を指導してまいります。 また、現在は面会を制限しており、病院から来院をお願いした場合のみ談話室で面会をしてるほか、病室内でご家族への説明を行うことがあります。 お気づきの点がありましたら、お近くのスタッフまでお知らせください。
8812	抗がん剤で爪が薄くなるので、補修・補強としてのネイルサロンを作ってもらいたい。	抗がん剤治療による爪に関するお悩みについて、ご心配のことと思います。専門のスタッフが爪の保護や補強等のケアのアドバイスが出来ますので、主治医、看護師にご相談ください。 なお、現在は新型コロナウイルス感染症予防のため中止とさせていただきますが、「患者さん家族向けセミナー」を毎月開催しています。抗がん剤治療による外見の変化へのケアを目的としたアピアランスケアのプログラムも含まれていますので、再開の際には参考にさせていただければと思います。
8813	関係者へのお礼 ファイルは診察券等がすべて落ちてしまう。 一考してほしい。	この度は、ご不便をおかけし申し訳ありません。 グリーンケースは、受付案内票や診察券を入れるためのポケットの目印となるシールを貼付し、案内を添えることとしました。 いただいたご意見を踏まえ、引き続き検討してまいります。
8814	カフェの店員の私語が多く気になった。コロナ禍で客も私語を慎んでいる中、飲食を提供する側が客の席まで聞こえる声で話しているのは気持ちのいいものではありません。 もう少し気を付けていただきたい。	この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 カフェの責任者に、頂いたご意見を伝え、店員が不要な会話を控えるよう注意いたしました。
8815	家族の病状説明のため、約束時間前に行ったが、4時間以上待った。 不安で待ち続けたこちらの気持ちはお構いなしに、担当医は「お待たせしてすみません」の一言もなく話し始めた。このような対応は人としてどうなのか。	この度は大変不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 頂いたご意見は診療科科長にお伝えしました。 患者さんの立場に寄り添った診療をするよう医師を指導してまいります。
8816	初診時の医師の言い方が物に猛毒の言葉を放っているようだった。この医師は、どんな志を持って医師になったのか。どうせ言うなら、暖かくて、やさしくて少しでも前を向けるような言葉を言ってもらいたい。	この度は大変不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。 頂いたご意見は全ての医師に伝えるとともに、病院の基本方針に掲げる「日本一患者と家族にやさしい病院」に恥じぬよう、改めて初心に帰り取組むよう指導してまいります。
8817	関係者へのお礼 食事が温かく美味しかった。	
8818	関係者へのお礼	
8819	初めての大病のため、本人も落ち込んでいるが、病院関係者の方と一緒に、家族も支えていきたい。	